



特定非営利活動法人  
市民社会創造ファンド  
年次報告書

はじめに 理事長あいさつ

2024年度 (2024年10月～2025年9月) 事業報告

2025年度 (2025年10月～2027年3月) 事業計画

2024年度決算・2025年度予算

役員名簿

参考資料 (助成対象プロジェクト一覧等)

はじめに

－4回にわたって開催した「助成担当者のための研修交流会」を振り返る－

特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド  
理事長 山岡 義典

市民社会創造ファンドでは、中期計画で定めた自主企画事業として「助成担当者のための研修交流会」を2023年8月以降4回開催してきた（2024年度（2024.10～25.9）は3回計画したが実現できたのは1回だけ）。開催済の4回の概要は下記の通りである（各回の企画書および2回以降の実施報告はHPで確認できる）。

○第1回 2023年8月31日

テーマ：助成を「出す」編～豊かな関係性をつくる助成事業を目指して～

参加者：61名（会場37名、オンライン24名）

○第2回 2024年2月15日

テーマ：資金原資を「集める」編～市民社会を支える多様な資金調達をめざして～

参加者：47名（会場33名、オンライン14名）

○第3回 2024年9月10日

テーマ：助成プログラムを「つくる」編～現場ニーズを踏まえた助成プログラムの企画開発～

参加者：50名（会場37名、オンライン13名）

○第4回 2025年8月7日

テーマ：助成プログラムの「磨き方」編～具体事例から読み解く～

参加者：32名（会場26名、オンライン6名）

事業の開始に当たっては、助成担当者に重要なのは「研修」なのか「交流」なのかを巡り色々と議論があった。研修と交流の2本立てで進めるか、研修から始めて交流に展開するか、あるいはその逆か等々の議論が行われ、結果として「研修的な要素を含む交流」ということで着手することにした。各回のプログラムは午後から開始、前半は基調講演（第4回ではトークセッション）と事例報告、後半は分科会による意見交換で終了後には懇親の機会を設けた。

出席は会場かオンラインかを選べるようにしたが、オンラインでは分科会や懇親には参加出来ず、その点で「交流」の役割は果たせなかったのは残念であった。

参加者は市民ファンドをはじめとする民間助成団体やNPO・中間支援組織、それに企業からと多彩であった。企業からは、助成活動を行っているところだけでなく新たに行おうとするところからも参加があった。

ファンドの理事も、積極的に発言するなど様々な協力をいただいた。会場提供でも便宜をはかっていただいた。私も毎回、理事長として参加し、発言した。

なお3回からは、過去の参加者に呼びかけて企画検討委員になって頂き企画とともに当日の運営にも協力いただいた。多様な立場から熱心な議論を重ねることで、現場感覚の密度の高い「みんなで創る」研修交流会に近づいてきたのは喜ばしい。

まだまだ課題はあるが、第5回以降の展開を愉しみにしている。



# 2024 年度 事業報告

2024 年 10 月～ 2025 年 9 月

新たな取り組み

基盤強化プログラム

助成プログラム（自主）

助成プログラム（特定）

協力プログラム

助成関連協力事業

# 2024 年度の新たな取り組み

## < 基盤強化プログラム >

### ■ 相談対応の体制整備

- ・ 理事による「なんでも相談会」を月 1 回実施

### ■ 企業・財団等に向けたセミナーやシンポジウムの開催

- ・ 理事発案企画として「遺贈寄付セミナー」を開催



## < 協力プログラム >

- ・ 「Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs (国内助成)」プログラム初となる「公募・個別説明会」を開催。
- ・ 「ジョンソン・エンド・ジョンソン コミュニティ・ヘルスケア・プログラム」2025 年度より公募型助成へ移行。



# 2024 年度事業報告—運営に関する事項

## 1. 総会および理事会の開催

○2024 年度 通常総会	2024 年 12 月 25 日	①2023 年度事業報告および決算の承認 ②2024 年度事業計画および予算の承認
○第 84 回理事会	2024 年 11 月 26 日	①2023 年度事業報告案および決算案の審議 ②2024 年度事業計画案および予算案の審議
○第 85 回理事会	2025 年 4 月 3 日	①2024 年度事業の経過報告 ②その他の意見交換
○第 86 回理事会	2025 年 6 月 23 日	①2024 年度事業の経過報告および下期の事業予定 ②2025 年度事業計画について
○第 87 回理事会	2025 年 9 月 8 日	①2024 年度事業経過報告および決算見込みの報告 ②2025 年度暫定事業計画案および予算案の審議 ③年度の変更についての審議

## 2. 中期ビジョンの推進に向けた事業展開

- ・ 中期ビジョン策定委員会が提示した 5 カ年計画の 4 年度目となり、2021 年度に行ったファンド設立 20 周年記念特別事業を土台として、そのビジョンの推進に取り組んだ。

---

### 3. 組織運営体制と事業展開のあり方の見直し改革

- ・中期ビジョン推進のためにも、現在の運営体制を見直し、総会や理事会で引き続き議論を行った。

### 4. 会員および寄付の拡大

- ・会員の獲得をめざし、市民社会創造ファンドの意義を積極的に広報した。
- ・NPO支援組織の基盤強化事業を強化しつつ、個人、企業、財団等に呼びかけ、随時寄付や助成プログラムへの協力を呼びかけた。

### 5. 広報ツールの強化

- ・2023年に改訂したWebサイトの活用を促進し、また、コンテンツの充実に努めた。積極的に市民社会創造ファンドの実績や諸活動を広報した。
- ・毎月1回、会員向けのメールマガジンを継続しつつ、外部メディアも活用し、会員や寄付獲得につながる情報発信も積極的に行った。PR TIMESに登録し、発信を行った。

### 6. 年次報告書の公開

- ・2023年度事業報告・決算報告を作成し、通常総会承認後、年次報告書としてWebサイトにおいて公開した。

# 2024 年度事業報告—事業に関する事項

## 1. 基盤強化プログラム

### (1) 助成担当者のための研修交流事業

#### 【計画】

- ・市民ファンド／コミュニティ財団、助成財団や助成を行う企業等との関係強化を目的とした、「助成担当者のための研修交流会」の第4回を2025年3月頃、第5回を6月頃、第6回を9月頃に開催する。内容は、企画検討委員会で検討し、第4・5・6回は一貫したテーマを設けて連続性を生み出し、学びを深める。

#### 【実施状況】

- ・第4回の研修交流会は、「助成プログラムの磨き方」をテーマに、2025年8月7日にハイブリッドで開催した（参加者：32名）
- ・企画検討委員会を9月29日にオンラインで開催し、第5回の研修交流会について検討した。



### (2) 新規の助成プログラムの企画開発および助成関連事業等の相談対応

#### ■新規の助成プログラムの企画開発

#### 【計画】

- ・新たな助成プログラムの企画開発やその運営協力、その他の評価事業等の関連事業への協力に努める。

#### 【実施状況】

- ・新規助成プログラムや関連事業を検討している団体（2団体）からの相談に対応した。

#### ■相談対応の体制整備

#### 【計画】

- ・企業や財団、行政等の助成担当者およびNPO支援組織の担当者を対象に、当ファンド理事を中心とした、助成事業に関する相談の機会を設ける。また、個別相談もスタッフが適宜応じる。相談対応の実施については、ホームページでの発信も強化する。

#### 【実施状況】

- ・2025年4月より毎月1回実施（4月～12月に実施。10件の相談に対応した。）

### (3) 企業・財団等に向けたセミナーやシンポジウムの開催

#### 【計画】

ファンド理事を中心に、企業や財団・行政等に向け、昨今の市民活動助成に関連したテーマのセミナーやシンポジウムを開催する。

#### 【実施状況】

6月20日に以下のとおり「遺贈寄付セミナー」を開催した。

##### ◎開催概要

- ・開催日時：2025年6月20日（金）14:00～16:30
- ・開催場所：日本NPOセンター地下会議室
- ・参加者：11名

##### <プログラム>

- ・趣旨説明・概論

「意志ある資金を活かすには」

山岡義典（市民社会創造ファンド 理事長）

- ・レクチャー

「知っておきたい 遺贈の基礎知識（税務）」

早坂 毅（サテライトオフィス 代表取締役）

- ・事例紹介

「遺贈寄付の事例から学ぶ」

実吉 威（ひょうごコミュニティ財団 代表理事）



### (4) NPO支援組織スタッフ強化助成

#### 【計画】

- ・この助成は、民間のNPO支援組織による、全国または地域ブロック単位で実施する研修プログラムを対象とし、主催者には外部講師の謝金・交通費を、参加者（民間のNPO支援組織のスタッフに限定）には交通費の一部を助成するもの。なお、当ファンドの関係者が所属する組織の研修の場合は、ファンドが共催することにより分担金として支払う。本助成については、各地・各分野のNPO支援組織の基盤強化を図ることを目的とし、引き続き「助成プログラム（自主）」の展開とすることも含めて、今後仕組みを再検討する。

#### 【実施状況】

今年度は未実施。

## 2. 助成プログラム

### <目次>

#### (1) 助成プログラム (自主)

自主プログラムの検討と実施 ⇒未実施

#### (2) 助成プログラム (特定)

■タケダ・ウェルビーイング・プログラム (計画型助成)

■ハマダ基金プログラム (計画型助成)

#### (3) 協カプログラム

■ファイザープログラム (公募型助成)

■Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs (国内助成) (公募型助成)

■スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム (公募型助成)

■東急子ども応援プログラム (公募型助成)

■ジョンソン・エンド・ジョンソン コミュニティ・ヘルスケア・プログラム (限定公募⇒公募型助成)

各助成プログラムについては、年間の事業計画をもとに運営を行った。

以降のページからは、「助成プログラム」(特定)、「協カプログラム」の各プログラムについての詳細を報告する。

なお、「協カプログラム」については、各プログラムの主催団体と適宜協議・相談しながら取り組んだ。

## (2) 助成プログラム (特定)

### ◆助成プログラム (特定)



### タケダ・ウェルビーイング・プログラム

長期療養の子どもたちに“生きる力”を

主催：市民社会創造ファンド／寄付：武田薬品工業

趣旨・目的：小児がんなどの難病によって長期にわたり入院・在宅療養する子どもたちとその家族を支える市民活動を応援。

\* 非公募・計画型助成

\* 第3期テーマ：オンラインとオフラインの融合

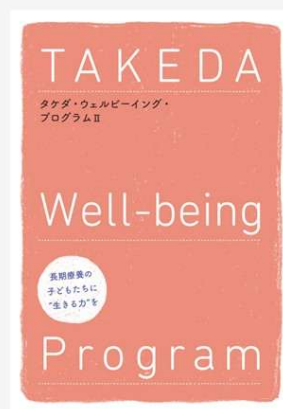
助成開始：2009年～

助成金額：総額800万円（1団体、上限：200万円）

助成期間：プロジェクトごとに設定（1年間）

助成対象：民間非営利団体

継続助成：あり（3年間）



< 助成実績 >  
2009年度～2025年度  
1億2,453万円

7

### 【解説・トピック】

- ・本助成は計画型の助成（非公募）であり、対象となる NPO に声をかけ、団体と対話しながらプロジェクトを作り上げて助成を行う。
- ・2025年度の助成で第3期（15年）が終了する。それに伴い、過去の助成対象団体（31団体）を招く「全体交流会」の企画に取り組んだ。

### 【実施状況】

#### 1) 2024年助成のフォロー

- ・助成対象：5件（継続5件）
- ・助成開始時期に応じて、助成の中間時点で中間報告書の受領及びインタビューを実施し、助成終了後には完了報告書を受領した。
- ・「中間交流会」を2025年3月14日にオンラインにて実施し、そのレポートをWEBサイトで公開した。



#### 2) 2025年助成の検討・実施・フォロー

- ・長期療養の子どもとその家族に対する支援の現状とニーズを調査し、2025年4月以降に助成する候補団体の調査・インタビューを行った。
- ・審査会を2025年3月（第1回）、6月（第2回）に実施し、助成対象：5件（新規3件、継続2件）、助成総額817万円を決定し、市民社会創造ファンドのホームページで結果を公表した。

#### 3) 実施報告

- ・2024年のプログラム実績及び成果について、2025年6月に武田薬品工業株式会社に報告を行った。

#### 4) 全体交流会の検討

- ・過去の全助成対象団体を対象とする、対面での交流会の企画内容の検討を開始、2026年2月19日に武田薬品工業株式会社で実施することを決定した。

#### ◆助成プログラム（特定）

#### (2) ハマダ基金プログラム（計画型助成）



### 生活上の困難をもつ人々の救援

寄 付：個人  
助成期間および助成金額：プロジェクトごとに設定

#### 【実施状況】

##### 1) 助成のフォロー

- ・「女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ」（2022年7月の審査で決定）が行う「困難を抱える女性のための居住支援プロジェクト」（2022年8月～2024年3月）への助成をフォローした。
- ・2024年4月末までに完了報告書を受領し、プロジェクトの成果と課題を確認した。
- ・なお、ハマダ基金プログラムは、本件の完了報告書を受領確認をもって終了した。

### (3) 協カプログラム

◆協カプログラム

## ファイザープログラム

こころとからだのヘルスケアに関する市民活動・市民研究  
主催：ファイザー株式会社

趣旨・目的：ヘルスケアの視点を重視したより良い社会への寄与を目的として、心とからだのヘルスケアの分野で活躍が期待される市民活動・市民研究を応援。  
\* 薬では十分に満たすことのできない取り組み  
\* 公的機関からのサービスや社会資源が不十分な分野

助成開始：2001年～  
助成金額：総額2,500万円程度（1団体、上限：300万円）  
助成期間：1～12月（1年間）  
助成対象：民間非営利団体（活動実績2年以上）  
継続助成：なし（合計3回まで助成可）



<助成実績>  
2001年度～2024年度  
459件、8億7,074万円

11

#### 【解説・トピック】

- ・プログラムの周知を図るため、2025年度の募集から広報に力を入れ、2024年度の応募数58件から、2025年度は153件へと増加した。
- ・選考体制の見直しをはかり、予備選考委員1名、選考委員2名を交代した。

#### 【実施状況】

##### 1) 2023年募集（2024年1月助成）のフォロー

- ・助成対象：14件（新規8件、継続6件）
- ・助成終了後、2025年1月末までに完了報告書を受領し、各プロジェクトの成果と課題を確認した。

##### 2) 2024年募集（2025年1月助成）の実施とフォロー

- ・前年に準じて公募・選考を実施。2024年12月に14件、助成総額1,870万円を決定し、結果を公表した。
- ・2025年1月から助成を開始。2025年6月から7月にかけて中間インタビューを実施し、7月末までに中間報告書を受領してプロジェクトの進捗を確認した。

##### 3) 2025年募集（2026年1月助成）の検討と実施

- ・前年のプログラム実施を踏まえ、ファイザー株式会社と運営方法等について協議を行った。
- ・2025年4月に公募を開始し、2025年7月～10月に選考を実施した（予備選考、本選考、選考ヒアリング、選考委員長決裁会合）。
- ・応募層の拡大を図るため、2025年5月に「オンライン公募説明会」を開催し、149名の参加を得た。

## ◆協カプログラム

### Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs (国内助成)

「貧困の解消」に向けて取り組むNPOの組織基盤の強化

主催：パナソニック オペレーショナルエクセレンス株式会社

趣旨・目的：社会において重要な役割を果たすNPO/NGOが、持続発展的に社会変革に取り組めるように。SDGsの大きな目標である「貧困の解消」に向けて、組織課題を明らかにする組織診断や、具体的な組織課題の解決、組織基盤の強化にむけた、様々な取り組みを応援。

助成開始：2019年～

助成金額：総額1,500万円程度

\* 150万円（組織診断から始めるコース）200万円（基盤強化から始めるコース）

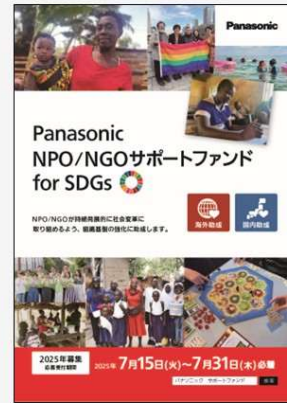
助成期間：1～12月（1年間）

助成対象：民間非営利団体（活動実績3年以上）

継続助成：あり。

\* 組織診断からはじめるコースは3年間、基盤強化からはじめるコースは2年間

\* 継続助成は、1年空きの申請可能。



#### < 助成実績 >

\* 国内助成：継続  
(2019年度～2024年度、58件、8,314万円)

\* 子ども分野：終了  
(2007年度～2019年度、145件、1億8,697万円)

### 【解説・トピック】

- ・年々少しずつではあるが、応募数が増加している。さらなるニーズの掘り起こしと応募層の拡大をはかるため、プログラム初となる「公募説明・個別相談会」をオンラインで開催した。

### 【実施状況】

#### 1) 2023年募集（2024年1月助成）のフォロー

- ・助成対象：9件（新規5件、継続4件）
- ・2025年1月末までに成果報告書（組織診断コースは、成果報告書および組織診断結果報告書）を受領し、各助成事業の成果と課題を確認した。
- ・2025年3月6日に成果報告会を開催し、助成事業の成果と課題を共有した。

#### 2) 2024年募集（2025年1月助成）の実施とフォロー

- ・前年に準じて公募・選考を実施。2024年12月に9件（新規4件、継続4件）、助成総額1,500万円を決定し、結果を公表した。
- ・2025年1月から助成を開始。2025年7月に中間インタビューを実施し、7月末までに中間報告書を受領してプロジェクトの進捗を確認した。

#### 3) 2025年募集（2026年1月助成）の検討と実施

- ・前年のプログラム実施を踏まえ、パナソニックと運営方法等について協議を行った。
- ・新規助成は、2025年4月に公募開始。8月～11月に予備選考・本選考を実施した。
- ・継続助成は、2025年6月に募集開始。9月～11月に選考を実施した。
- ・応募層の拡大を図るため、2025年6月5日に「公募説明・個別相談会」をオンラインで開催し、そのサポートを行った（申込35名、個別相談16組）。

## スミセイ コミュニティスポーツ 推進助成プログラム

コミュニティスポーツによる健やかな暮らしと文化の醸成

主催：公益財団法人住友生命健康財団

趣旨・目的：地域において様々な人々が、楽しみながら参加・交流し、スポーツを通じて一人ひとりの健やかな暮らしの実現をめざす取り組み（コミュニティスポーツ）を根付かせ、文化にする。

助成開始：2010年～

助成金額：総額2,200万円～2,300万円程度

【チャレンジコース】50万円／1年間 16件程度

【アドバンスコース】300万円／2年間 4件程度

助成期間：4月～翌3月（1年間）

助成対象：民間非営利団体（アドバンス＝活動実績2年）

継続助成：なし



< 助成実績 >  
2010年度～2024年度  
435件、3億4,154万円

16

### 【解説・トピック】

- ・2024年募集をもって、第3期のプログラムが区切りを迎える。そのため、2024年度にプログラム更新のための調査を行った。
- ・その結果、これまで助成の枠組みとして設けていた「一般」（地域の中で一人ひとりの健やかな暮らしの実現につながるコミュニティスポーツ）、「特定」（心身の障がいや長期療養などにより社会参加が困難な状況にある人と共に楽しめるコミュニティスポーツ）の枠組みは、ユニバーサルな取り組みの増加を踏まえて廃止した。

### 【実施状況】

#### 1) 2023年募集（2024年4月助成）のフォロー

- ・助成対象：31件（チャレンジコース〔新規〕17件、チャレンジコース〔連続〕5件、アドバンスコース1年目4件、アドバンスコース2年目5件）
- ・2024年4月に助成を開始。2024年10月末までに中間報告書を受領し、各プロジェクトの進捗を確認。アドバンスコースは、2024年10月～11月に中間インタビューを実施。
- ・助成終了後、2025年4月末までに完了報告書（アドバンスコース1年目は中間報告書②）を受領し、各プロジェクトの成果や経過を確認した。

#### 2) 2024年募集（2025年4月助成）の実施とフォロー

- ・2024年7月に公募を開始。2024年8月～2025年2月に選考を実施した。
- ・2025年2月に31件（助成総額2,301万円）の助成を決定。2025年3月に結果を公表し、4月から助成を開始した。

#### 3) 第4期プログラムの企画更新と実施／2025年募集（2026年4月助成）

- ・第3期プログラムの終了に伴い、企画更新のための調査を実施した。助成内容や仕組み、選考体制等を検討し、応募書類を作成した。
- ・2025年7月に公募を開始8月～11月に予備選考・本選考を実施した。

#### 4) コミュニティスポーツに関する情報発信

- ・コミュニティスポーツの取り組み事例とその意義を社会に発信するため、2025年3月末に2年の助成が終了した7団体を対象に取材を実施。記事を作成し、住友生命健康財団のホームページに掲載した。

#### 5) 助成終了2年後アンケート調査の実施

- ・助成終了後2年を経過した団体を対象に、2025年6月～9月にアンケート調査を実施し、助成プログラムの成果や課題を把握した。

#### ◆協力プログラム

### 東急子ども応援プログラム

子どもたちの幸せを支える地域の活動を応援

主催：東急株式会社

趣旨・目的：子どもを取り巻く社会課題の解決を目指し、子どもたちの幸せを支える東急線沿線における、地域の活動を応援。

助成開始：2020年～

助成金額：総額2,000万円程度

【Aコース】50万円～100万円／1年間 10件程度

【Bコース】30万円～50万円／1年間 15件程度

助成期間：4月～翌3月（1年間）

助成対象：民間非営利団体（Aコース＝活動実績2年）

継続助成：あり（2年間）



< 助成実績 >

2020年度～2025年度  
72件、6,594万円

#### 【解説・トピック】

- ・東急株式会社の意向により、草の根の団体も広く支援することができるよう、少額助成枠（Bコース）を新設した。

#### 【実施状況】

##### 1) 2023年募集（2024年4月助成）のフォロー

- ・助成対象：16件
- ・東急株式会社が行う報告会やプロジェクトの成果の発信について協力した。

##### 2) 2024年募集（2025年4月助成）の実施

- ・2024年7月に募集を開始し、9月～12月に選考を実施。
- ・2024年12月に、21件、助成総額2,000万円を決定。2025年3月に結果を公表し、4月から助成を開始した。

##### 3) 2025年募集（2026年4月助成）の検討と実施

- ・募集内容等について、東急株式会社と協議しながら検討を実施。
- ・2025年7月に公募を開始。9月～2026年1月にかけて予備選考・本選考を実施した。



# ジョンソン・エンド・ジョンソン コミュニティ・ヘルスケア・プログラム

主催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

趣旨・目的：地域社会のヘルスケアの向上につながる  
 フロントラインヘルスワーカーによる取り組みを応援。  
 ＊2024年度にモデル助成を実施し2025年度より公募型助成に切り替え。  
 ＊J&J社員による伴走支援も行う。  
 助成開始：2024年～  
 助成金額：総額2,000万円程度  
 300万円／件 6件程度  
 助成期間：6月～翌5月（1年間）  
 助成対象：民間非営利団体（要法人格）  
 継続助成：あり



<助成実績>  
 2024年度～2025年度  
 13件、3,301万円

## 【解説・トピック】

- ・2024年のモデル助成実施を経て、2025年から公募型助成に切り替えることとした。公募型助成に切り替えたことにより選考委員会を設置し、より客観的な評価を組み入れることとし、加えてプログラムの充実に向けた一助とした。

## 【実施状況】

### 1) 2024年モデル助成（2024年6月助成）のフォローと評価

- ・助成対象：6件
- ・2024年6月に助成を開始。2024年10月に中間インタビューを実施するとともに、10月末までに中間報告書を受領し、各プロジェクトの進捗を確認した。
- ・併せて、モデル助成のプログラム評価を実施した。
- ・助成終了後、2025年6月末までに完了報告書を受領し、各プロジェクトの成果や経過を確認した。
- ・モデル助成の結果については取りまとめを行い、2025年10月にジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社に報告した。

### 2) 2025年公募助成（2025年6月助成）の実施

- ・2024年12月に募集を開始し、2025年1月～3月に選考を実施（応募件数：58件）。
- ・2025年4月に、助成対象7件、助成総額1,826万円を決定。2025年5月に結果を公表し、6月から助成を開始した。
- ・2025年5月12日（看護の日）に助成対象団体が一堂に会するキックオフイベントを開催した。
- ・助成開始後は、ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社と協議しながら助成対象団体のフォローに協力している。

◆助成関連協力事業



## (1) 上記以外の助成プログラムに関する評価

---

ファンド以外で実施した助成プログラムも対象に、助成事業に関する評価調査を受託し実施する計画であったが、行っていない。

## (2) その他の関連協力事業

---

出張研修事業等、様々な形の助成関連協力事業を受託し、実施する計画であったが、行っていない。

2024年度のスタッフ体制（2025年9月30日現在）  
事務局長／シニア・プログラムオフィサー 山田 絵美  
プログラム・オフィサー 駒井 雅子  
嘱託・アルバイト等 3名  
以上

# 2025 年度 事業計画

---

2025 年 10 月～ 2027 年 3 月

新たな取り組み

基盤強化プログラム

助成プログラム（自主）

助成プログラム（特定）

協力プログラム

助成関連協力事業

## 2025 年度の新たな取り組み

### ■事業年度の変更

- ・現在の事業年度は 10 月～翌 9 月であるが、助成プログラムの募集・選考時期が複数重複し、事業年度末とも重なるため事務局の業務負担が大きくなっている。また、一般的な組織の事業年度と半年ずれていることにより、年度管理にも混乱が生じている。このため、事業年度を 4 月～翌 3 月に変更することとした。スムーズな事業年度の移行に務める。

### ■次期「中期ビジョン策定委員会」の設置と運営

- ・2025 年度は、2021 年に策定した「中期ビジョン」の 5 カ年計画の 5 年度目となる。ファンド設立 25 周年（2027 年）に向けて、中期ビジョンの策定に取り組む。策定にあたっては、内外の協力を仰ぎながら「中期ビジョン策定委員会」を立ち上げる。

## 2025 年度事業計画—運営に関する事項

### 1. 総会および理事会の開催

○2025 年度 通常総会	2025 年 12 月	①2024 年度事業報告および決算の承認 ②2025 年度事業計画および予算の承認 ③役員交代の承認 ④年度の変更の承認
○第 88 回理事会	2025 年 11 月	①2024 年度事業報告案および決算案の審議 ②2025 年度事業計画案および予算案の審議
○第 89 回理事会	2026 年 3 月	
○第 90 回理事会	2026 年 6 月	
○第 91 回理事会	2026 年 9 月	①2025 年度事業経過報告および決算見込みの報告 ②2026 年度暫定事業計画案および予算案の審議
○第 92 回理事会	2026 年 11 月	
○第 93 回理事会	2027 年 3 月	

## 2025 年度事業計画—事業に関する事項

### 1. 基盤強化プログラム

#### (1) 助成担当者のための研修交流事業

- ・当ファンドと助成担当者（市民ファンド／コミュニティ財団、助成財団、助成を行う企業等）との関係強化を目的とした「助成担当者のための研修交流会」を開催する。2026年3月頃に第5回、同年夏頃に第6回の開催を予定する。企画にあたっては、企画検討委員会を拡充して内容の検討を進める。

#### (2) 企業・財団等に向けたセミナーやシンポジウムの開催

- ・当ファンド理事を中心に、企業や財団等に向けたセミナーやシンポジウムを企画・実施し、新たな助成プログラムの企画開発や運営協力の展開につなげる。

#### (3) 相談対応の充実

- ・当ファンド理事による「市民活動助成なんでも相談会」を毎月1回程度、継続的に実施する。当ファンドの認知度を向上するとともに、相談機会を広げる。

#### (4) 新規の助成プログラムの企画開発

- ・新たな助成プログラムの企画開発やその運営協力および、評価事業等の助成関連事業に協力する。

#### (5) NPO支援組織スタッフ強化助成

- ・この助成は、民間のNPO支援組織による、全国または地域ブロック単位で実施する研修プログラムを対象とし、主催者には外部講師の謝金・交通費を、参加者（民間のNPO支援組織のスタッフに限定）には交通費の一部を助成するもの。なお、当ファンドの関係者が所属する組織の研修の場合は、ファンドが共催することにより分担金として支払う。

本助成については、各地・各分野のNPO支援組織の基盤強化を図ることを目的とし、引き続き「助成プログラム（自主）」の展開とすることも含めて、今後仕組みを再検討する。

---

## 2. 助成プログラム

### <目次>

#### (1) 助成プログラム (自主)

- 自主プログラムの検討と実施

#### (2) 助成プログラム (特定)

- タケダ・ウェルビーイング・プログラム (計画型助成)

#### (3) 協力プログラム

- ファイザープログラム (公募型助成)
- Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs (国内助成) (公募型助成)
- スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム (公募型助成)
- 東急子ども応援プログラム (公募型助成)
- ジョンソン・エンド・ジョンソン コミュニティ・ヘルスケア・プログラム (限定公募⇒公募型助成)

## (1) 助成プログラム (自主)

### ■自主プログラムの検討と実施

- ・当ファンド独自で立ち上げる助成プログラムについて検討を始める。そのための寄付を募集するとともに、会員の拡充につとめる。プログラムの立ち上げについては運営委員会を組成する。

## (2) 助成プログラム (特定)

### タケダ・ウェルビーイング・プログラム (計画型助成)

～長期療養の子どもたちに“生きる力”を～

\* 武田薬品工業株式会社の年度毎の寄付により当ファンドが自主的に行うもの。

\* 計画型 (非公募) \* 助成期間：プロジェクトごとに設定

#### 1) 2025 年助成のフォロー

- ・助成対象：5 件
- ・助成開始時期に応じて、中間時点で中間報告書の受領およびインタビューを実施する。
- ・助成終了後には完了報告書を受領し、各プロジェクトの成果と課題を確認する。

#### 2) 第 4 期助成に向けた検討と提案

- ・2025 年助成をもって本プログラムの第 3 期は終了する。
- ・2026 年以降の第 4 期助成の実施に向けて検討を行い、武田薬品工業株式会社担当者に提案を行う。

#### 3) 全体交流会の企画・実施

- ・第 1 期から第 3 期までの助成対象団体 (31 団体) を対象とした交流会を企画する。  
2026 年 2 月 19 日に対面形式で開催する予定であり、その準備を行う。

#### 4) 実施報告

- ・2025 年助成のプログラム実績および成果について取りまとめる。
- ・2026 年 6 月に武田薬品工業株式会社に報告を行う。

#### 5) 第 3 期プログラム記念冊子の検討

- ・第 3 期プログラムの終了にあたり、記念冊子の制作について武田薬品工業株式会社担当者と検討を行う。

### (3) 協力プログラム

#### ファイザープログラム（公募型助成）

～心とからだのヘルスケアに関する市民活動・市民研究支援～

\* ファイザー株式会社の助成事業に当ファンドが協力して行うもの。

\* 応募受付時期：6月      \* 助成期間：1月～12月

##### 1) 2024年募集（2025年1月助成）のフォロー

- ・ 助成対象：14件
- ・ 助成終了後、2026年1月末までに完了報告書を受領し、各プロジェクトの成果と課題を確認する。

##### 2) 2025年募集（2026年1月助成）の実施とフォロー

- ・ 前年に準じて公募・選考を実施し、2025年10月に助成を決定する。
- ・ 2026年1月から助成を開始。2026年5月～6月に中間インタビューを実施し、7月末までに中間報告書を受領してプロジェクトの進捗を確認する。

##### 3) 2026年募集（2027年1月助成）の検討と実施

- ・ 前年のプログラム実施を踏まえ、ファイザー株式会社と運営方法等について協議を行う。
- ・ 2026年4月に公募を開始。7月～10月に選考を行い、10月に助成を決定する。
- ・ 応募層の拡大を図るため、オンライン公募説明会を開催する。

#### Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs（国内助成）（公募型助成）

～「貧困の解消」に向けて取り組むNPOの組織基盤の強化～

\* パナソニックホールディングス株式会社の助成事業に当ファンドが協力して行うもの。

\* 応募受付時期：7月～8月      \* 助成期間：1月～12月

##### 1) 2024年募集（2025年1月助成）のフォロー

- ・ 助成対象：9件（新規5件、継続4件）
- ・ 2026年1月末までに成果報告書を受領する。
- ・ 2026年2月頃に成果報告会を開催し、助成事業の成果と課題を確認・共有する。

##### 2) 2025年募集（2026年1月助成）の実施とフォロー

- ・ 前年に準じて公募・選考を実施し、2025年12月に助成を決定する。
- ・ 2026年7月に中間インタビューを実施し、7月末までに中間報告書を受領してプロジェクトの進捗を確認する。助成終了後、2027年1月末までに成果報告書を受領する。組織診断コースについては、成果報告書に加えて組織診断結果報告書を受領する。

##### 3) 2026年募集（2027年1月助成）の検討と実施

- ・ 前年のプログラム実施を踏まえ、パナソニックと運営方法等について協議する。
- ・ 新規助成は2026年4月に公募を開始。8月～11月に予備選考・本選考を行い、12月に助成を決定する。
- ・ 継続助成は2026年6月に募集を開始。9月～11月に選考を行い、12月に助成を決定する。

## スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム（公募型助成）

### ～コミュニティスポーツによる健やかなひとづくりと社会づくりに向けて～

\*公益財団法人住友生命健康財団の助成事業に当ファンドが協力して行うもの。

第Ⅰ期は2010年より、第Ⅱ期は2016年より、第Ⅲ期は2021年より開始。第Ⅳ期を2025年から開始する。

\*応募受付時期：7月～8月      \*助成期間：4月～翌年3月

#### 1) 2024年募集（2025年4月助成）のフォロー

- ・助成対象：31件（チャレンジコース〔新規〕20件、チャレンジコース〔連続〕3件、アドバンスコース1年目4件、アドバンスコース2年目4件）
- ・2025年10月末までに中間報告書を受領し、各プロジェクトの進捗を確認する。
- ・アドバンスコースについては、2025年10月～11月に中間インタビューを実施する。
- ・その後、住友生命健康財団と連携してフォローを継続する。
- ・助成終了後、2026年4月末までに完了報告書（アドバンスコース1年目は中間報告書）を受領し、各プロジェクトの成果や経過を確認する。

#### 2) 2025年募集（2026年4月助成）の実施とフォロー

- ・前年に準じて公募・選考を実施し、2026年2月に助成を決定する。
- ・2026年4月から助成を開始する。

#### 3) 2026年募集（2027年4月助成）の検討と実施

- ・前年のプログラム実施を踏まえ、住友生命健康財団と運営方法等について協議を行う。
- ・2026年7月に公募を開始。2026年8月～9月に予備選考、11月に本選考を行い、2027年2月に助成を決定する。

#### 4) コミュニティスポーツに関する情報発信

- ・2026年3月末に継続助成が終了した8団体を対象に取材を行う。
- ・コミュニティスポーツの取り組み事例とその意義を社会に発信するため、記事を作成し、住友生命健康財団のホームページに掲載する。

#### 5) 助成終了2年後アンケート調査の実施

- ・助成終了後2年を経過した団体を対象にアンケート調査を実施する。
- ・2026年6月～9月に調査を行い、助成プログラムの成果や課題を把握する。

## ■東急子ども応援プログラム（公募型助成）

- \* 東急株式会社の実施する助成事業に当ファンドが協力して行うもの。2020年開始。
- \* 応募受付期間：9月 \* 助成期間：4月～翌年3月
- \* 地域限定公募（東急線沿線市区内対象）
- \* この助成プログラムは、すべての子どもが安心・安全で心豊かに暮らせる生活環境づくりを応援するものとして開始した。

### 1) 2025年募集（2025年4月助成）のフォロー

- ・ 助成対象：21件
- ・ 東急株式会社が行う報告会やプロジェクトの成果の発信について協力する。

### 2) 2026年募集（2026年4月助成）の実施

- ・ 前年に準じて公募・選考を実施し、2026年3月に助成を決定する。
- ・ 2026年4月から助成を開始する。

### 3) 2026年募集（2027年4月助成）の検討

- ・ 募集の内容等につき、東急株式会社と協議し検討する。

## ■ジョンソン・エンド・ジョンソン コミュニティ・ヘルスケア・プログラム（公募型助成）

- \* ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社の実施する助成事業に当ファンドが協力して行うもの。  
2024年に限定公募でモデル助成を開始、2025年から公募型助成へと移行
- \* この助成プログラムは、地域社会におけるフロントラインヘルスケアワーカーの取り組み、フロントラインヘルスケアワーカーへのエンパワメントやヘルスケアに繋がる取り組みを応援するもの。

### 1) 2024年モデル助成（2024年6月助成）のフォローと評価

- ・ 助成対象：6件
- ・ 2025年10月にプロジェクト報告会をオンラインで開催する。
- ・ 各プロジェクトの成果や経過を確認するとともに、助成プログラムに対する評価を得る。

### 2) 2025年公募助成（2025年6月助成）のフォローと評価

- ・ 助成対象：7件
- ・ 2026年11月に中間インタビューを実施する。2026年12月末までに中間報告書を受領し、各プロジェクトの進捗を確認する。併せて助成プログラムの評価を行う。
- ・ 助成終了後、2027年7月末までに完了報告書を受領し、各プロジェクトの成果や経過を確認する。

### 3) 2026年公募助成（2026年6月助成）の検討と実施

- ・ 2026年募集の内容等について、ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社と協議し検討を行い、2025年12月に公募を開始する。

---

### 3. 助成関連協力事業

#### (1) 上記以外の助成プログラムに関する評価

ファンド以外で実施した助成プログラムも対象に、助成事業に関する評価調査を受託し実施する。

#### (2) その他の関連協力事業

今後も出張研修事業等、様々な形の助成関連協力事業を受託し、実施する。

2025年度のスタッフ体制（2025年10月1日現在）

事務局長／シニア・プログラムオフィサー	山田 絵美
プログラム・オフィサー	駒井 雅子
嘱託・アルバイト等	3名
	以上



2024 年度決算・2025 年度予算  
役員名簿

---

特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド

【一般財産】2024年度決算および2025年度予算（単位：円）

（決算：2024年10月1日～2025年9月30日、予算：2025年10月1日～2027年3月31日）

	2024年度 予算	2024年度 決算	予算比	達成率	2025年度 予算
<収入>					
<b>A 会費収入</b>	1,100,000	525,000	△ 575,000	47.7%	1,650,000
A-1 個人正会員 受取会費	500,000	250,000	△ 250,000	50.0%	750,000
A-2 NPO/法人正会員 受取会費	500,000	240,000	△ 260,000	48.0%	750,000
A-3 個人賛助会員 受取会費	50,000	30,000	△ 20,000	60.0%	75,000
A-4 NPO/法人賛助会員 受取会費	50,000	5,000	△ 45,000	10.0%	75,000
<b>B 寄付金等収入</b>	31,500,000	29,110,005	△ 2,389,995	92.4%	22,239,658
B-1 一般寄付	300,000	132,000	△ 168,000	44.0%	300,000
B-2 指定寄付金	11,200,000	10,718,005	△ 481,995	95.7%	1,939,658
B-3 指定助成金	20,000,000	18,260,000	△ 1,740,000	91.3%	20,000,000
<b>C 自主事業収入</b>	450,000	61,000	△ 389,000	13.6%	300,000
<b>D 受託事業収入</b>	22,476,951	21,771,124	△ 705,827	96.9%	33,701,111
D-1 一般助成事業	20,476,951	20,616,124	139,173	100.7%	30,701,111
ファイザー	5,800,000	5,771,500	△ 28,500	99.5%	8,700,000
パナソニック	3,300,000	3,520,000	220,000	106.7%	5,250,000
スミセイ	5,900,000	6,061,619	161,619	102.7%	8,850,000
東急	1,100,000	1,100,000	0	100.0%	1,650,000
ジョンソン・エンド・ジョンソン	4,376,951	4,163,005	△ 213,946	95.1%	6,251,111
D-2 新規・特別事業	2,000,000	1,155,000	△ 845,000	57.8%	3,000,000
スミセイ企画更新調査	0	1,155,000	1,155,000		
			0		
雑収入	240,000	240,000	0	100.0%	360,000
<b>当期収入合計</b>	<b>55,766,951</b>	<b>51,707,129</b>	<b>△ 4,059,822</b>	<b>92.7%</b>	<b>58,250,769</b>
<支出>					
<b>a 助成金支出</b>	29,000,000	26,430,000	△ 2,570,000	91.1%	20,000,000
a-1 自主プログラム	0	0			0
a-2 指定寄付による助成金支出	9,000,000	8,170,000	△ 830,000	90.8%	0
a-3 指定助成金による助成金支出	20,000,000	18,260,000	△ 1,740,000	91.3%	20,000,000
<b>b 助成等活動費</b>	20,100,000	20,420,368	320,368	101.6%	30,600,000
b- 人件費	10,300,000	10,247,516	△ 52,484	99.5%	15,600,000
b- 活動経費	4,000,000	3,336,278	△ 663,722	83.4%	6,300,000
b- 謝金等経費	1,500,000	2,114,836	614,836	141.0%	3,000,000
b- 事務経費	2,000,000	2,262,138	262,138	113.1%	2,250,000
b- 地代家賃	2,300,000	2,459,600	159,600	106.9%	3,450,000
b- 指定助成業務費	0	0	0	0.0%	
b- 20周年事業関連費	0	0	0	0.0%	
<b>c 一般管理費</b>	4,200,000	4,588,563	388,563	109.3%	6,900,000
c- 人件費	1,800,000	1,806,739	6,739	100.4%	2,700,000
c- 事務経費	500,000	565,534	65,534	113.1%	600,000
c- 地代家賃	600,000	628,490	28,490	104.7%	900,000
c- 租税公課	1,100,000	1,587,800	487,800	144.3%	2,400,000
c- 予備費	200,000	0	△ 200,000	0.0%	300,000
<b>経常費用計</b>	<b>53,300,000</b>	<b>51,438,931</b>	<b>△ 1,861,069</b>	<b>96.5%</b>	<b>57,500,000</b>
当期 一般正味財産増減額	2,466,951	268,198	△ 2,198,753	10.9%	750,769
前期 繰越一般正味財産額	1,938,282	1,938,282			2,206,480
次期 繰越一般正味財産額	4,405,233	2,206,480	△ 2,198,753	50.1%	2,957,249

特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド

【指定財産】2024年度 決算および2025年度予算 (単位：円)

(決算：2024年10月1日～2025年9月30日、予算：2025年10月1日～2027年3月31日)

	一般科目	2024年度 予算	2024年度 決算	2025年度 予算
指定財産寄付金 タケダ・ ウェルビーイング ・プログラム	指定寄付・助成収益	10,000,000	10,000,000	0
	受取寄付金	10,000,000	10,000,000	
	その他収益	0	0	0
	一般正味財産への振替額	11,200,000	10,718,005	1,939,658
	助成金	9,000,000	8,170,000	
	ファンド運営費	2,200,000	2,548,005	1,939,658
	指定助成業務費			
	その他払出			
	収支差額	△ 1,200,000	△ 718,005	△ 1,939,658
	前期末指定正味財産	2,657,663	2,657,663	1,939,658
今期末指定正味財産	1,457,663	1,939,658	0	
合 計	指定寄付・助成収益	0	0	0
	受取寄付金	0	0	0
	受取助成金	0	0	0
	その他収益	0	0	0
	一般正味財産への振替額	11,200,000	10,718,005	1,939,658
	助成金	9,000,000	8,170,000	0
	ファンド運営費	2,200,000	2,548,005	1,939,658
	指定助成業務費	0	0	0
	その他払出	0	0	0
	収支差額	△ 1,200,000	△ 718,005	△ 1,939,658
前期末指定正味財産	2,657,663	2,657,663	1,939,658	
今期末指定正味財産	1,457,663	1,939,658	0	

一般正味財産への振替額

	指定財産寄付金 (B-2)	11,200,000	10,718,005	1,939,658
	指定財産助成金 (B-3)	0	0	0
	計	11,200,000	10,718,005	1,939,658
	指定財産助成金 (a-2)	9,000,000	8,170,000	0
	ファンド運営費 (b-1～6の一部に充当)	2,200,000	2,548,005	1,939,658
	指定助成業務費 (b-6)	0	0	0
	計	11,200,000	10,718,005	1,939,658

**特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド**  
**貸借対照表**  
(2025年9月30日現在)

(単位：円)

科目	金額		
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	4,249,447		
未収入金	2,882,000		
前払金	236,500		
仮払金	178,185		
立替金	0		
流動資産合計		7,546,132	
2. 固定資産			
事務所保証金	1,200,000		
固定資産合計		1,200,000	
資産合計			8,746,132
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払い金	287,552		
前受金			
預り金	812,442		
短期借入金	0		
流動負債合計		1,099,994	
2. 固定負債			
長期借入金	3,500,000		
固定負債合計		3,500,000	
負債合計			4,599,994
<b>III 正味財産の部</b>			
一般 正味財産	2,206,480		
指定 正味財産	1,939,658		
正味財産（一般、指定）			4,146,138
負債および正味財産合計			8,746,132

特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド  
 財産目録  
 (2025年9月30日現在)

(単位：円)

科目	金額	
<b>I 資産の部</b>		
1. 流動資産		
現金預金	<b>4,249,447</b>	
現金	0	
みずほ銀行普通預金（銀座支店）（一般用）	2,250,145	
みずほ銀行普通預金（丸之内支店）（会費・寄付用）	0	
みずほ銀行普通預金（丸之内支店）（指定用タケダ）	1,939,658	
みずほ銀行普通預金（銀座支店）（オンラインバンク用）	59,644	
未収入金	<b>2,882,000</b>	
ファイザー	1,892,000	
パナソニック	990,000	
前払金	<b>236,500</b>	
事務所家賃（10月分）	236,500	
仮払金	<b>178,185</b>	
労働保険料	178,185	
流動資産合計		7,546,132
2. 固定資産		
事務所保証金	<b>1,200,000</b>	
固定資産合計		1,200,000
資産合計		<b>8,746,132</b>
<b>II 負債の部</b>		
1. 流動負債		
未払い金	287,552	
印刷費（9月分）	25,862	
社会保険料（9月分）	209,366	
光熱費（9月分）	52,324	
預り金	812,442	
健康保険	49,601	
厚生年金	126,283	
労働保険	55,914	
所得税	67,849	
地方税	159,900	
謝金源泉税	116,072	
ファンド講師謝金	11,000	
その他	225,823	
短期借入金	0	
流動負債合計		1,099,994
2. 固定負債		
長期借入金（山岡理事長からの長期借入期）	3,500,000	
固定負債合計		3,500,000
負債合計		<b>4,599,994</b>
<b>III 正味財産の部</b>		
一般正味財産	2,206,480	
指定正味財産	1,939,658	
タケダ・ウェルビーイング・プログラム	1,939,658	
正味財産計		4,146,138
負債および正味財産合計		<b>8,746,132</b>

# 特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド

## 役員

### ○理事：(重任)

- 阿部 陽一郎 (社会福祉法人 中央共同募金会 参与)
- 安藤 雄太 (東京ボランティア・市民活動センター アドバイザー)
- 上田 英司 (認定特定非営利活動法人 日本 NPO センター 事務局次長)
- 実吉 威 (特定非営利活動法人 市民活動センター神戸 (KEC) 理事・事務局長、  
公益財団法人 ひょうごコミュニティ財団代表理事)
- 田尻 佳史 (認定特定非営利活動法人 日本 NPO センター 常務理事)
- 谷本 都栄 (帝京大学 冲永総合研究所 准教授)
- 中島 智人 (産業能率大学 経営学部 教授)
- 中村 陽一 (立教大学 名誉教授)
- 長澤 恵美子 (わくわく共創オフィス 代表)
- 山岡 義典 (認定特定非営利活動法人 日本 NPO センター 顧問、法政大学 名誉教授)
- 山口 郁子 (協同組織金融機関 職員)
- 横田 能洋 (認定特定非営利活動法人 茨城 NPO センター・commons 代表理事)
- 渡辺 元 (公益財団法人 助成財団センター 理事)

### ○監事：

- (重任) 稲垣 正久 (市民社会創造ファンド 元事務局長)
- (新任) 関口 宏聡 (特定非営利活動法人 セイエム 代表理事)

任 期：2025 年 12 月 16 日から 2027 年 6 月の総会終結時まで

【参考資料】 市民社会創造ファンド 主催・協力助成プログラム 対象一覧

◎タケダ・ウェルビーイング・プログラム（2025年度助成:2025年4月以降 随時実施）

【新規助成1年目】 助成件数:3件、助成金額:574万円

プロジェクト名	団体名	都道府県	助成金額 (万円)
小児がんや重い病気を抱える子どもたちの居場所づくりプロジェクト	特定非営利活動法人 勇者の会	北海道	200
入院から退院後まで続く長期的小児がん支援事業の体制強化と運営費安定化の取り組み	一般社団法人 みんなのレモネードの会	神奈川県	174
長期療養児支援の最前線「院内学級」との連携強化および課題ニーズ調査	認定特定非営利活動法人 ポケットサポート	岡山県	200

【継続助成3年目】 助成件数:2件、助成金額:243万円

プロジェクト名	団体名	都道府県	助成金額 (万円)
病気があっても主役になれる子ども育成プロジェクト～みんなでやってみよう！スポーツ、音楽 etc.心に寄り添う居場所づくり～	認定特定非営利活動法人 心臓病の子どもを守る京都父母の会	京都府	43
入院中・長期療養中のこどもたち・そのきょうだい家族を支援するネットワーク「小児病棟わくわく応援団」の連携強化	小児病棟わくわく応援団	大阪府	200

合計 助成件数:5件、助成総額:817万円

◎ファイザープログラム（2025年度助成:2026年1月～2026年12月）

プロジェクト名	団体名	都道府県	助成金額 (万円)
小児がんを経験した子どもと家族が描き、共に築く未来への地域づくり	特定非営利活動法人 イナクル	北海道	200
聴覚障害児・者とその家族への支援事業～「家族みんながわかる」を楽しもう～	特定非営利活動法人 きらきら	群馬県	117
外国人住民が適切な医療を受けられるために不可欠な医療通訳の活用促進事業	認定NPO法人 シェア＝国際保健協力市民の会	東京都	240
反貧困ネットワーク 居場所交流事業『Champoraーちゃんぽらー』	一般社団法人 反貧困ネットワーク	東京都	235
子ども・若者の心を支える支え手の実態調査と地域に根ざした支援体制の構築	特定非営利活動法人 LightRing.	東京都	240
難病者の社会参加をサポートする「可視化アプリ」「トリセツ」の展開	特定非営利活動法人 両育わーど	東京都	240
がん情報の空白を埋める実践と検討	特定非営利活動法人 肺がん患者の会ワンステップ	神奈川県	160
発達障害の特性の高い中・高校生とその保護者を対象とした就労準備講座の開発	特定非営利活動法人 大阪精神障害者就労支援ネットワーク	大阪府	180
自殺防止ボランティア相談員の心理ケア確立による相談体制強化事業	認定NPO法人 国際ビフレンダーズ 大阪自殺防止センター	大阪府	230
“農業と布”を通じたひきこもり支援と若者を包摂する地域共生社会創出事業	特定非営利活動法人 青少年自立支援施設 淡路プラッツ	大阪府	180
ピア・ペア・ケア・プロジェクト	特定非営利活動法人 こどもサポートステーション・たねとしずく	兵庫県	92
こどもたちに「いのちのおはなし」を届けよう	いのちのおはなし岡山	岡山県	70
発達障害・精神疾患のある若者と取り組む社会的処方と支援再構築の実践	一般社団法人 もも	香川県	250

合計 助成件数:13件、助成総額:2,434万円

◎パナソニック NPO/NGO サポートファンド for SDGs (2025 年募集:2026 年 1 月~2026 年 12 月)

【新規助成】 助成件数:5件、助成金額:799 万円

プロジェクト名	団体名	都道府県	コース	助成金額 (万円)
「理念を軸に安心できる学びの場を支える組織診断と運営体制づくり」—こどもと家庭の孤独を防ぐ持続可能な多拠点運営と地域との連携強化に向けて	認定特定非営利活動法人 盛岡ユースセンター	岩手県	組織 診断	150
多様な価値観を活かし、切れ目のない若者支援実現に向けた組織変革プロジェクト	認定特定非営利活動法人 Switch	宮城県	組織 診断	150
困難な環境に生きる群馬県内の子ども・若者への支援体制および財務基盤強化に向けた組織診断	特定非営利活動法人 ターサ・エデュケーション	群馬県	組織 診断	150
外国ルーツの子ども支援を持続可能に—「共に育つ社会」へ向けた中長期計画と組織強化	認定特定非営利活動法人 メタノイア	東京都	組織 診断	150
中長期計画策定による組織基盤強化と持続可能な子どもアドボカシー推進事業	特定非営利活動法人 全国子どもアドボカシー協議会	福岡県	基盤 強化	199

【継続助成】 助成件数:4件、助成金額:701 万円

プロジェクト名	団体名	都道府県	コース	助成金額 (万円)
強固な組織基盤形成によって、移動支援が地域の貧困対策解消のリーダーへと成長してゆく取組み (継続助成 2 年目)	特定非営利活動法人 移動支援 Rera	宮城県	組織 診断	160
性的マイノリティの貧困の解消に向けた、持続可能な組織・ファンドレイジングの仕組みづくり (継続助成 2 年目)	一般社団法人 性的指向および性自認等により困難を抱えている当事者等に対する法整備のための全国連合会	東京都	組織 診断	200
「妊娠の社会的孤立」解消に向けた多様な活動の持続運営のため、組織横断型で取り組む対話を通じた人材育成・組織文化作り (継続助成 2 年目)	認定特定非営利活動法人 ビッコラレ	東京都	組織 診断	181
地域の子ども・若者に向けた多様な支援事業と制度の狭間を埋める活動を継続していくため、ブランド化を通じた人材育成と法人事務強化の取組み (継続助成 2 年目)	認定特定非営利活動法人 どりいむスイッチ	広島県	組織 診断	160

合計 助成件数:9件、助成総額:1,500 万円

◎スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム (2024 年度助成:2025 年 4 月~2026 年 3 月)

※アドバンスコースは 2027 年 3 月まで

【チャレンジコース】 (地域におけるコミュニティスポーツのチャレンジと、その後の自立・発展をめざすもの)

■ 新規助成 助成件数:20 件 助成金額:992 万円

プロジェクト名	団体名	都道府県	助成金額 (万円)
陸前高田版タオル体操とモルックを広め集うコミュニティを育てる	特定非営利活動法人 りくカフェ	岩手県 陸前高田市	44
多世代交流・健康グリーンツーリズムによるスポーツ応援コミュニティ復帰事業	鶴が丘一丁目町内会	宮城県 仙台市	50
日本一の水路のまちを目指すため「潮来の水辺に日常を」地域住民で楽しむ水上散歩 SUP クルージング	一般社団法人 いたこみズベデザイン	茨城県 潮来市	50
子供の運動習慣の基盤づくりとパラスポーツを通じた障がい者の地域参加のための支援事業	NPO 法人 成田スポーツアカデミー	千葉県 成田市	50
ユニファイドスポーツ「誰でも チアダンス！」	認定特定非営利活動法人 スペシャルオリンピックス日本・東京	東京都 新宿区	49
バイシクルタウン Tokyo 散走 めぐり	一般社団法人 散走ネットワーク	東京都 大田区	50
運動が苦手な子どもがラグビーをきっかけにスポーツが好きになる取組み	小松市ラグビーフットボール協会	石川県 小松市	50
ディスクゴルフで多文化共生	坂井市国際交流協会	福井県 坂井市	50
チャレンジ！ シニアバドミントン	チャレバド	長野県 北佐久郡	50
シニア世代向けの体幹トレーニングメニューの開発	特定非営利活動法人 チャレンジゆう Achi	長野県 下伊那郡	50

「市民交流ポッチャ大会」	NPO 法人 掛川市民交流研究会	静岡県 掛川市	50
部活動地域移行が進む中で、居場所と活動場所を無くした中学生を中心にしたスポーツコミュニティづくり	NPO 法人 プライズアウト	愛知県 春日井市	50
みんなでびわ湖を遊びつくす！～誰もが楽しめる拠点をめざして～	特定非営利活動法人 琵琶湖ローイング CLUB	滋賀県 大津市	50
ペタンクがたつなく多世代交流・異文化交流による健康的なまちづくり	特定非営利活動法人 ワトワーズ多聞台	兵庫県 神戸市	50
ほらっできるやん！みんなでパラスポーツを楽しもう プロジェクト	あかしパラスポネット	兵庫県 明石市	50
親子の絆を深めるスポーツイベント「親子スポーツフェスタ」「親子大運動会」	一般社団法人 Future for Kids	兵庫県 明石市	50
コミュニティスポーツを通じて地域の住まう人々の健康と生きがいを育む	社会福祉法人 来島会	愛媛県 今治市	50
特別支援学校等を活用した障がい者スポーツの拠点づくり事業	NPO 法人 しいだコミュニティ倶楽部	福岡県 築上郡	50
超越スポーツ・モルックは離島の新しい未来を創る！	吉崎市総合型地域スポーツクラブ Kamelia SC	長崎県 吉崎市	49
菊池川を活用したオープンウォータースイミング(OWS)の普及と地域振興	玉名郡水泳協会	熊本県 玉名郡	50

■ 連続助成 助成件数:3件 助成金額:150万円

プロジェクト名	団体名	都道府県	助成金額 (万円)
すべての子どもが“参加しやすい社会”をめざして～コミュニティスポーツがたつなくユニバーサルな場づくり	MLA 実践交流・勉強会	北海道 札幌市	50
ココロとカラダの「健幸」豊かなスポーツライフをめざしてみんなが『健幸』に暮らせる町 ～人と人がつながり 笑顔がひろがる町づくり～	特定非営利活動法人 まち・ひと・みらい	福島県 東白川郡	50
ご近所アドベンチャー&リゾートプロジェクト	森遊び工房 notameni	佐賀県 鳥栖市	50

【アドバンスコース】(地域を超えたコミュニティスポーツの展開や、特定の地域におけるコミュニティスポーツの深化をめざすもの)

■ 助成1年目 助成件数:4件 助成金額:568万円 来年度助成予定金額(2年目):526万円

プロジェクト名	団体名	都道府県	助成金額 1年目 (万円)	助成金額 2年目 (万円)
地域一体で取り組む「誰もが一緒に座って楽しむスポーツ」の輪づくり	旭川パラスポーツ協議会	北海道 旭川市	150	150
ノルディック・ウォークで盛り上げる、「ウォークアップ推進都市」の実現	特定非営利活動法人 NORDIC あさか	埼玉県 朝霞市	120	100
みんながつながる・かがやく！『インクルーシブ ダンス&ヨガ』	ままりズムぱぱリズム	神奈川県 横浜市	138	136
「ダイバーシティ&インクルージョン」(D&I)「運動療育」と「国際交流」を融合させた発達障害児支援	特定非営利活動法人 ワン・フォー・オール	山口県 宇部市	160	140

※尚、アドバンスコースは助成期間が2年間であり、昨年度(2022年度)に以下の5団体を助成対象として決定しており、2022年度も継続して助成を行う。

■ 助成2年目 助成件数:4件 昨年度助成金額(1年目):609万円 今年度助成金額(2年目):591万円

プロジェクト名	団体名	都道府県	助成金額 1年目 (万円)	助成金額 2年目 (万円)
Chain of Smiles Project ～ボーダーレスで誰もが安心して参加できるスポーツイベントの実践～	Chain of Smiles Project 実行委員会	秋田県 秋田市	170	130
テラコヤのブカツドウ～不勝道～	NPO 法人 テラコヤ	東京都 豊島区	150	150
「Head Of The SETA」を市民参加型の国際レースへ	特定非営利活動法人 瀬田漕艇倶楽部	滋賀県 大津市	150	150
沖縄の離島・へき地における障がい当事者を中心とした地域スポーツクラブの創設	一般社団法人 琉球スポーツサポート	沖縄県 浦添市	139	161

合計 助成件数:31件、助成総額:2,301万円 ※アドバンスコース助成2年目団体の助成2年目件数・金額を含む

◎東急子ども応援プログラム（2025年度助成:2025年4月～2026年3月）

プロジェクト名	団体名	助成金額 (万円)
0歳から小中学生まで、青少年・妊産婦から子育て世代まで、のびのび子育ての輪をひろげよう	NPO 法人 青空保育ペンペンぐさ	95
Let's play!! SCRAP#PARK	一般社団法人 おおたクリエイティブタウンセンター	100
外国につながる子ども(未就学児)の小学校への接続支援	一般社団法人 おやまちプロジェクト	100
子どもの入院に付き添う家族を支援する 『ミール de スマイリング』事業	認定 NPO 法人 キーブ・スマイリング	100
地域で繋がりに楽しむ・多世代×多文化交流の新拠点 ぷらっと Kiricafe	NPO 法人 霧が丘ぷらっとほーむ	100
竹山プロジェクト(こどもヒーローズプロジェクトin竹山団地)	NPO 法人 KUSC	100
児童養護施設の子どもの達が自立する為のコミュカ向上プロジェクト	NPO 法人 JAM ネットワーク	96
誰でも参画！ 町田山崎団地多世代交流「BBQ・冒険遊び場」プロジェクト	学校法人 正和学園 幼保連携型認定こども園 正和幼稚園	95
「学習支援」と「子どもビューティサロン」による 居場所ファーストリーチ事業	NPO 法人 ソシオキュアアンドケアサポート	91
親子が心身ともに健康で笑顔になれる子育て支援をする保育園	NPO 法人 どろん子会 自然保育園どろん子	100
「好き」の芽が見つかり、「好き」が自信と学びに繋がる 子どもの居場所づくり	NPO 法人 はたらくらす	93
レジリエンスを育む「子どもと若者の図書館ぶらに」の運営	たまプラーザ駅徒歩 2 分図書館「ぶらに」	100
障害児/者の『きょうだい児』支援プログラム ～心のケアと成長を支える～	NPO 法人 for your SMILE	88
フードロスのリメイク料理教室	NPO 法人 まちのかぜ	100
子どものためのリズム・ダンス・アート インクルーシブプロジェクト	ままりズムぱぱリズム	96
こどものまちミニヨコハマシティ開催と持続可能なこどものまちへ	認定 NPO 法人 ミニシティ・プラス	100
水曜開放 Day	一般社団法人 めぐもり	98
グローバル・アイデンティティ・プログラム	NPO 法人 Youth For Future	97
横浜市立みなと総合高校「校内カフェ」運営事業	公益財団法人 よこはまユース	100
若者がすべてのこどもたちの居場所づくり・経験づくりを実施する	学生団体ルピナス品川	56
みんなのおうち～わたしのやりたいを叶える場所～	NPO 法人 レスバイト・ケアサービス萌	95

合計 助成件数: 21 件、助成総額: 2,000 万円

◎ジョンソン・エンド・ジョンソン コミュニティ・ヘルスケア・プログラム (2025年度公募助成:2025年6月~2026年5月)

プロジェクト名	団体名	都道府県	助成金額 (万円)
「さぼんて」を活用し、地域での共助・互助の循環をつくる	特定非営利活動法人 あえりあ	北海道	300
地域 FLHW と協働して行う障がいのある女の子のウェルビーイング推進事業	一般社団法人 S.C.P. Japan	千葉県	300
「認知症とともに暮らすための いのちの授業」 モデルプロジェクト	一般社団法人 エンドオブライフ・ケア協会	東京都	300
愛知こどもホスピスプロジェクト presents “Family Day”	特定非営利活動法人 愛知こどもホスピスプロジェクト	愛知県	300
病気がある子どもにあそびで関わる人の集まりネットワーク(Special Kids Japan)	スペシャルキッズサポート振興協会	大阪府	291
心と体を元気にする！パーキンソン病当事者と家族の社会的孤立解消事業	てんびん	兵庫県	260
トラウマを抱えた依存症者支援を行う当事者サポーターの インフォームドケア事業	一般社団法人 神戸ダルクヴィレッジ	兵庫県	75

合計 助成件数:7件、助成総額:1,826万円





市民社会創造ファンドでは、会員・賛助会員を募集しています。市民活動助成を通じた新しい市民社会の創造にむけてご協力をお願いいたします。



発行 2026年3月23日  
発行元 特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド  
〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 1-4-3  
日本橋 MI ビル 1 階  
TEL 03-5623-5055 FAX 03-5623-5057  
info@civalfund.org <https://civalfund.org>